扶養家族認定調書

被保険者	記号		ﾌﾘｶﾞﾅ		男・女	生年月日	昭和・平成・令和　(満　才) 年　月　日	
	番号		氏名	㊞				
			住所				所属	部　課
被扶養者	ﾌﾘｶﾞﾅ			男・女	続柄		生年月日	昭和・平成・令和　(満　才) 年　月　日
	氏名							
	住所					資格確認書要否	要 □ 否 □	同居・別居

1. 申請する被扶養者が加入していた保険　(1) 健康保険(協会・組合) (2) 国民健康保険 (3) その他(　　)
2. 扶養を必要とする申請理由を具体的に記入すること。**(単身赴任者は8. にも記入してください)**

3. 扶養を開始するに到った年月日　[　　年　　月　　日]
4. 扶養とする被扶養者の現在の生活費について
   (1) 自分で働いて生活していた　(　　年　　月まで)
   (2) 年金等で生活していた　(　　年　　月まで)
   (3) ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿に扶養されていた　(　　年　　月まで)
5. 申請する被扶養者の現在の生活費について
   (1) 全面的に被保険者が負担している ※【収入が無い者】
   (2) 被保険者が収入の有る者に対して一部負担している　(月額　　円)　※【別居は仕送り額を記入】
   (3) 被保険者以外に負担している者 [祖父母・父母・妻・兄弟姉妹・他]

[氏　名]	[被扶養者との続柄]	[月額]
		円
		円

6. 申請する被扶養者の収入の有無

(1) 商業、農業所得、ﾊﾟｰﾄﾀｲﾏｰ、内職等の収入	ない・ある	(年収　　円)
(2) 国民・厚生年金、共済組合等受給権者	ない・ある	(年収　　円)
(3) 失業給付金の受給(申請の有無も再確認)	ない・ある	(年収　　円)
(4) 預・貯金利子、配当所得、家賃等の固定資産収入	ない・ある	(年収　　円)
(5) その他の収入 (　　)	ない・ある	(年収　　円)

7. 申請する被扶養者は所得税法による扶養控除対象者に申告していますか。　(1) いる　(2) いない
   ・申告していないときはその理由　(　　)

8. 会社の都合による単身赴任ですか。(どちらかに○印を付けてください)
   (1) はい　(赴任期間:　　年　　月 ～　　年　　月)　(2) いいえ
   ＊(1)の場合:赴任期間は同居とみなし、送金の証明書等は不要です。

上記調書の通り相違ないことを証明します

事業所名称

事業主名　　㊞

・ 提出の目的　この認定調書は健康保険法第3条7項の「主としてその被保険者により生計を維持するもの」と定められていることにもとづき、被扶養者認定の公平を期すために健康保険被扶養者異動届の補足資料として提出するものです。
他の目的に利用することはありませんので事実を報告して下さい。

・ 書類の提出　被扶養者認定に当たり公平を期する為、状況により公的機関、その他の証明書等必要と思われる書類を求めることがあります。